

異常兒の身體的特徴に就て

高師教授 寺澤嚴男

幼稚園に就て研究せられねばならぬ事項は、勿論極めて多い事であらうと思ひます。然し殊に其の中でも凡ての研究の基礎ともなるべき事柄は、幼兒の心身の發達が如何に如何に變化しつゝあるかを嚴密に測定し得る事であらうと思はれます。之に依つて始めて、各々の異なる個性と發達程度とに應じて夫々加へらる可き養護の方法が決定せられ、又其加へたる養護の効果も知悉する事が出来るのであります。然らば其等身體の發達を如何にして測定し得可きか、又其等精神の發達を如何にして検査し得可きか、之は極めて重要であつて而も又極めて困難なる問題であります。されば次には唯其精神の發達を檢定するに當つて、特に異常兒に現るゝ身體的徴候にも注意すべき必要ある事に就て一言して、多少皆様の御參考に供したいと考へるのであります。

異常兒とは申す迄も無く通常兒と異なる點を有す

る兒童を指しますので、其異なる點とは身體的にも精神的にも云ひ得る筈であります。然し今茲に異常兒と申しますのは、主として心的方面に就て申しまするので、たとへ身體的には或る一部分に若干の異常がありましても、精神的には全く健全であつて普通の兒童と異らぬ時には、茲には異常兒と云ふ中には入れぬ事と致します。扱精神的の異常兒と申しましても、普通の兒童に比して特に優秀なる兒童も、又低劣なる兒童と共に其中に含まれる筈であります。又普通の兒童よりも低劣であるが申しましても、主として智能の發達の薄弱低劣なる者も無論其中に含まれますが、又智能に於ては普通の發達を遂げて居るか、或は時としては多少普通よりも勝れて居るにも拘らず異常の性格を有するもの、即ち素質的に道徳的に缺陷を有するか、或は其他種々の病的性癖を有する者等をも此中に入れる事が出来ます。然し優秀高能の兒童には茲に述べんとするが如

き種々の身體的徵候を伴ふ事は、極めて稀であつて、主としてそれは所謂低脳兒に多いのであります。されば今茲に異常兒の身體的特徵を申しまして、それは主として精神低格者に屢々伴ふ所の徵候に就て云ふのであるとは御承知を願ひます。

二

低能兒の鑑定は割合にむづかしいもので、素人の考へて居らるゝやうにさう容易なものではありません。勿論大體の見當位は誰れでもつきまします。然し正確に其程度を決定する事は至難であります。低能兒の分類及び其分類せられた各々の名稱は色々あります。大體白痴、痴愚、輕痴の三階段に分けて居ります。然し其等の境目は餘りはつきりして居りませぬ。勿論其境目を立てる標準は、學者によつて色々きめては居りますが、然し實際になるに對手が木や石のやうに、しかとしたものではありませぬから、其標準ときめた折角の物尺も中々對手に當て試みにくいので困ります。殊に、白痴の邊りになりますと誰にでも分りますが、低能兒と通常兒との境目邊りになると、どちらに入れてよいか可成り判斷に困却するのであります。醫學の方で

は低能兒は主として精神病學者が受持つて居りまして、矢張り白痴 (Idiot)、痴愚 (Imbecillität)、輕痴 (Démence) の三階級に分けては居りますが、そして其の分ち方の標準も大體きめては居りますが、實際我々が診察などを致しまする時には、大體の見當で此三つの中の何れかに入れて呼んで居るのであります。

されば低能兒の鑑定は、矢張心理學者の手に依つて、所謂精神検査を行つて見て、其智能指數に依つて決定するが確かで精密であります。然しそれにして今日所まだよい精神検査法が組み立てられて居りませぬ。仕方がないから今日一般に行はれて居る所謂ビナー・シモンの系列式智能検査法を用ふるのであります。然し無論之とても不完全であります。まだ、將來此方法は次第に改良せられていつて、完全に近いものになされて行かねばなりません。然し不完全とは云ふものゝ、今日の所よりよいものがありませぬ以上、先づ之を用ふるのが一番正確精細であると云はなければなりません。幸に久保學士が我國の兒童に適應するやうに御考案になつた、改訂智能検査法もありますから大變都合がよろし

う御座います。

三

然し精神検査を行ふに致しましても、之と共に其身體的特徴にも眼をつける必要があります。勿論低能兒等の身體的特徴は嚴密に特徴とは云へず、唯屢々彼等に現はれる徴候と云ふだけのものであります。従つて是等の徴候が無くて普通の立派な身體を有して居るにも拘らず、其精神的方面は明かな低能兒である事もあり、之に反して是等の徴候を有して居るにも拘らず、其精神的方面は立派な通常兒である事もあります。従つて此身體的徴候を判斷の唯一の據り所とするならば、それは無論誤りに陥り易い。されば此身體的徴候の價値を著しく貶して唯主として精神検査法に據るべき事を高調して居る人もあります。然し既に述べたやうに今日の智能検査法なるものもまだ随分不完全でありますから、身體的徴候をも其鑑定の助けとなす事は甚だ必要であると思ひます。

今日用ゐられて居る精神検査法なるものは、まだ精神の全部に及ぶ事が出来ませず、主として智的作用の検査でありまして所謂智能検査法と呼ぶべきも

のであります。然し低能兒等の異常兒を檢定するに當つて、主としてそれが智能の検査をなすに止まりましても、多少不完全ながらそれはまだ許されませう。しかしそれよりも少し困る事は、智能検査法では、出來得る限り智能の本來の素質を檢定する心構えでは居りますが、それにしても矢張其兒童のそれ迄の後天的經驗の有無或は多少が可成り影響して參ります。されば生れつきの智能の優劣の外に、家庭や學校での教育の多少及び巧拙、當人の勤怠、偶然の經驗の有無、智識修得の門戸である感覺器官の故障其他種々の一時的疾病の有無等が、可成り其結果を左右する事を免れませぬ。是等の要素を絶對に排除して檢定する事は只今の所困難であります。然し我等が低能兒の鑑定に於て目指す所のものは其生れつきの素質、若しくは生後間も無き疾病等に依つて永久的に起つた其大脳の組織學的解剖學的異常に依つて生ずる精神的特質或は發達程度を檢定して、所謂眞の低能兒を決定せんとするのであります。見懸けの低能兒、一時的の低能兒、即ち感覺器官の故障、其他種々の原因に依る經驗の多少等に依つて唯一時低能兒と略々同様の水平線にあるものと

は出來得る限り區別せねばなりません。されば智能検査法に加ふるに、其身體的徴候にも注意して、それを鑑定の一助とする事は甚だ必要であります。

何となれば是等の身體的徴候は、先天的の精神的低格者に屢々伴ふ所のものであるからであります。

のみならず幼稚園時代の兒童の如きは、自己の精神内容を如實に發表する事が甚だ拙劣でありまして兒童によりましては殊にそれが著しく困難なものがあります。さればたとへ智能検査法を行ふに致しましたも、殊に幼兒に對しては其身體的徴候に眼をつける必要が重々あります。

其他異常兒なるか通常兒なるか自らの判斷が頗る疑はしき時、若しくは精細なる検査法に依らず急遽不用意に異常兒を認めんとする時などに、若し此身體的徴候をも發見する時は、其鑑定の上に大なる手懸かり助けとなるものであります。

前にも申し述べましたように、此身體的徴候は、其有無のみでは確實に異常兒であるか否かを決定する根據とする事は出來ませぬが、若し此身體的徴候の現れが著しい程度のものであるか、或は其徴候が唯一つに限らずして數多の徴候が同時に同一人に存

在する時などには、其鑑定上の確實性が非常に増して參ります。

四

異常兒に現はれる身體的特徴が、何故に多くの場合斯くの如く其精神的狀況と密接なる關係を有するのであるか、それはまだ極く明白になつて居るとは云へませぬ。然し低能兒等が何故に生ずるか云ふに、申す迄もなく第一には其個人の始源となれる生殖細胞が、既に受胎前に其祖先よりの遺傳素質を享けて若しくは其親の疾患(微毒等)又は其親の中毒(酒精等)の影響を受けて、受胎後に於ける發育の障礙又は異常を先天的に決定されて居る爲めの事もあり、第二には母が其胎兒妊娠中に精神的及び身體的の攝生を怠り或は誤つて其胎兒に機械的打撃などを與へたりした事の爲めに、其後に於ける胎兒の發育の障礙又は異常を惹き起す爲めの事もあり、第三には出産の際の故障、第四には出産後比較的幼少の時に受けた疾病(腦膜炎等)の影響等に依つて、其後に於ける發達の障礙又は異常を齎した爲めの事もあります。さうして是等の影響は常に中樞神經系統に對してのみならず、同時に他の身體的諸器官に

對しても種々の障碍又は異常を惹き起さしむる場合が多いと云ふ事は容易に考へ得られる事でもあり、又たとへ是等の影響が單に中樞神經系統以外の他の身體的器官にのみ其發育障碍又は異常を來したにしても、それは多くの場合やがて二次的に中樞神經系統の發達に大なり小なりの影響を次第に及ぼして行く事及び其逆の場合もあり得る事は容易に考へ得られる事であります。されば此二者の間には多くの場合に密接なる關係が事實上存在する事は當然の事と云へませう。

(以下次號)

白百合と銀河

白百合の花は、純潔、溫和なぎの意味をもつて居ります。むかし、あるところに、アルクミナーミいふ美しい人がございました。あまり美しいので、遂にジュピターの神様の寵愛を蒙り、ハーキュリーズいふ、玉のやうな男の兒を生みました。ジュピターの妃のジュノーは、これを快からず思ひ、二匹の毒蛇をハーキュリーズの搖籃に放ち、すやすや眠つてゐる幼いハーキュリーズを咬み殺させようございました。しかし、ハーキュリーズは生れながらに力が強いので、蛇を自分で殺してしまひました。

そこでジュノーは尙更憤り、ハーキュリーズを自分の宮殿にまねいで殺す計畫をいたしました。無邪氣なハーキュリーズは、美しい宮殿に参りまして、ジュノーの膝にもたれ、嬉々として笑ひ戯れ、一向恐しいはかりごみを知るよしもありませんでした。それで、さすがのジュノーも、この可愛いらしいをさなごの様に心がくだかれて、思はず抱き上げ、やさしい接吻をしてやりました。

この時、急にジュノー女神の乳房に痛みを覺えましたので、さうしたごまか、さよく見ます、ハーキュリーズはジュノーのお乳を吸つてよろこんでゐるのです。

ここで、この恐ろしい女性も、情愛の絆にもだされ、自分の淺ましさを深くはぢ入りました。

この時、ジュノー女神の乳房からはお乳が迸つて、天に懸つてゐる銀河となり、地に落ちては美しい白百合の花となりました。

銀河と白百合とは共に幼い子供の無邪氣さから、この世に出來たものです。